

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年2月21日				
児童発達支援事業所みらい						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			・事務所と支援室が離れているので、活動の様子など把握できないこともあるため、安全面の点でも改善を検討を重ねています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2		・個別支援が必要な場面が多く、職員配置数が基準には達していますが、1対1で対応することが難しい状況であり職員が足りていないと感じます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・活動に参加しやすいように、必要な物のみを用意したりなど支援室の環境を整えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・支援終了ごとに換気を徹底したり消毒を実施しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・個別支援ができるような場所があり、状況に応じて利用することができます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・年1回事業所評価アンケートを実施し結果を事業所だけではなく法人にも報告し、保護者の意見を踏まえ、より良い運営になるよう努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	・法人として事業部会を開催し、外部評価を行う機会があります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・地域の療育機関対象の研修会などに積極的に参加しており、職員の資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・HPや事業所廊下に掲示してあります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		・保護者より家庭やこども園の様子を聞き取りながら相談対応したときのお子さんの様子を踏まえて、発達課題を見極め支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			・事業所内職員間で共通理解し検討していますが、記録として残していなかったため、検討された経緯をしっかりと残していけるようにします。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・お子さんの姿を観察し丁寧にアセスメントを行うことや、独自の発達チェックシートを使用し発達課題を見極めています。	・発達を確認できるツールや検査などを用いてはいないので、お子さんの様子からチェックできる検査等を取り入れていけるよう検討しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・5領域に基づいた本人支援のねらいや、家庭や地域への支援として項目を設定し支援計画を立てています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	1		・利用定員や職員配置によって、個別支援の提供が難しい状況があるので、発達に応じて臨機応変に対応できる職員体制を整えて欲しいです。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・支援を振り返りお子さんの様子を職員間で共有し、気付いたこと感じたことを意見し合い、次の支援に活かせるよう利用検討しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・支援記録を保護者へ配布し、こども園の先生や家庭でも共有してもらえるよう周知しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・保護者の都合を確認し、参加しやすい日程を調整しモニタリングの実施をしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・お子さんの様子をしっかりと把握し情報を得ながら、適切な意見が提案できる児童発達支援管理者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・必要に応じて園を訪問したり、電話で情報を得ることで、お子さんの支援についてそれぞれの立場でできることを確認しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・行政機関が主催の引継ぎ会に参加しています。また事前に保護者と引継ぎ内容を確認し、文書として引き継いでいけるよう体制を整えています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		4	・児童発達支援センターとの連携は図れていませんが、行政機関の発達支援センターや西濃圏域発達障がい支援センターへ相談したり助言を受ける機会を設けています。	・事業所として中核的機能を持つことができるよう、組織として体制を整えていけるよう検討していきたいと思っています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・支援後に支援の振り返りを保護者と一緒に行っています。	・職員数が少なく、支援終了後に次の支援が始まるため、保護者と発達について話をすることが難しいです。懇談の在り方を検討していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・今年度は保護者対象とした相談会を開催しました。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に説明をしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・モニタリング時に保護者の思いを確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		・支援計画の内容を説明し保護者からの同意を得ています。	・支援計画の説明、確認を丁寧に行えるように、個別支援会議等を実施します。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・いつでも相談できる体制を整え、保護者からの相談を受け付けています。また、療育の視点からの助言を行い、相談に対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	・地域の保護者交流の場を紹介しています。	・保護者同士が交流できる場がないので、事業所として開催できるよう検討していきたいです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			・通信を配布していますが、定期的な配布ができていないので、次年度はできるだけ多く支援の様子など発信していきたいと思います。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		・ボランティアや実習生の受け入れを行っています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・各マニュアルを作成し、保護者の方がいつでも閲覧できるようにしてあります。今年度はさすまた研修を実施しました。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・事業所内での机上訓練や、会館の避難訓練に参加しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・支援前にお子さんの検温を行い体調チェックをしています。また保護者から直接お子さんの様子を確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			・アセスメント時にアレルギーについて確認しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・今年度安全計画を立て、計画に基づいて訓練や安全確認を実施しました。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・通信を通して訓練などの実施を報告しました。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・虐待防止委員会を設置し研修を行いました。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		・身体拘束に関しても委員会を設置し、研修会を行いました。必要に応じて支援計画に記載するよう職員間で周知しています。	